

平成21年度農作物病虫害発生予察注意報第2号

平成21年9月1日

山 口 県

病虫害名 水稻のトビイロウンカ

1 発生地域 県内全域（9月下旬以降に収穫するほ場）

2 発生時期 9月上旬以降（第二世代幼虫最盛期）

3 発生程度 やや多

4 注意報発令の根拠

- (1) 8月25日～27日の巡回調査では、9月下旬以降に収穫を迎えるヒノヒカリ等中生品種で発生ほ場率80.0%と平年（21.3%）に比べ3倍以上高かった（表1、図1）。
- (2) 上記調査での成虫数は2.9頭/10株で、平年（0.5頭/10株）に比べ6程度多く、短翅型成虫率は83.4%で、平年（41.6%）に比べ2倍以上高かった（表1）。今後、本虫が急速に増殖し、坪枯れ等の被害が発生する恐れがある。

5 防除方法

(1) 防除時期（図2）

9月9日～14日頃（7月20日飛来虫の第2世代幼虫最盛期）には場をよく観察し、多発生が確認された場合は直ちに防除を実施する。なお、防除実施7日後に再確認し、必要に応じ再度防除を実施する。

(2) 防除薬剤

防除薬剤は平成21年山口県農作物病虫害・雑草防除指導基準による（http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a1720160/00000008/s1-8sattyu_all.pdf）。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 収穫期が迫り薬剤散布ができないほ場は早めに収穫する。
- (2) 薬剤は株元によくかかるように丁寧に散布する。
- (3) 必要以上に早い落水は、被害を助長するので適期落水に努める。
- (4) 防除にあたっては、適正な薬剤散布作業の実施、農薬使用基準の遵守など安全で効果的な防除に努める。

表1 9月下旬以降に収穫するほ場における発生状況

年次(平成)	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	平年
調査ほ場数	31	29	29	32	32	30	32	26	29	30	30	30
発生ほ場率(%)	6.5	0	0	0	21.9	3.3	43.8	61.5	72.4	3.3	80.0	21.3
10株当たり虫数(頭)	0.2	0	0	0	0.8	0.0	17.8	7.8	87.1	0.0	7.2	11.4
成虫数(頭)	0.0	0	0	0	0.2	0	0.7	1.3	2.4	0.0	2.9	0.5
短翅型成虫数(頭)	0	0	0	0	0.1	0	0.5	0.8	1.3	0	2.4	0.3
短翅型成虫率(%)	0	—	—	—	61.5	—	73.7	59.7	54.8	0	83.4	41.6

注：8月25日～27日の巡回調査による

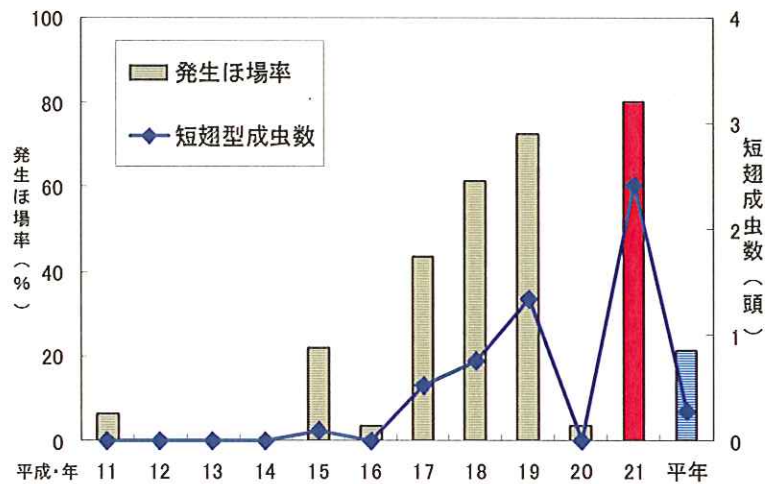


図1 9月下旬以降に収穫するほ場における発生ほ場率と短翅虫数 (8月25日～27日の巡回調査)

		JPP-NET病害虫発生予測システム										
		9月					10月					
飛来日		1	5	10	15	20	25	1	5	10	15	20
トビイロウンカ												
△	6月25日	AA	-----	-----	o	o	o	o	o	o	o	o
○	6月29日	AAAAAAA	-----	-----	o	o	o	o	o	o	o	o
☆○	7月20日	-----	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o
△	7月23日	-----	o	o	o	o	o	o	o	o	o	o

防除適期
 予測日 2009年 8月 31日
 凡例 A: 成虫 - : 卵 o : 幼虫 @ : 防除適期
 ☆ 主要な飛来 ◎ 多飛来 ○ 並飛来 △ 少飛来

図2 トビイロウンカの防除適期予測図



成虫 (左：短翅型 右：長翅型)



坪枯れ